

勇猛果敢

甲魂祭～秋の陣～甲中祭を終えて⑥



2 学年合唱コンクール、学級発表の 4 番目は 1 組で、指揮者馬場麻弘さん、伴奏者鶴田夏菜さんのもと、「空駆ける天馬」でした。練習からバランスがとれた合唱を響かせ、指揮者・伴奏者が表現する強弱や曲想を各パートが丁寧に歌い上げ、見事に金賞を獲得しました。指揮者、伴奏者の作文から、学級合唱に関する部分を紹介します。

・指揮者として、たくさん練習をしました。体育館での練習では、全体が早くなってしまって焦ったけど、その後の練習でなんとかリズムを合わせることができました。空駆ける天馬は、指揮が難しいです。理由は、途中でリズムや速さが変わるからです。その難しいところを家でたくさん練習して、合唱練習でみんなに迷惑をかけないようにしました。基礎的な指揮の振り方を完璧にしたら、それに加えてみんなが歌いやすいような合図を考えて、伸ばすところで手を伸ばしたり、つなげてきれいに歌いたいところは、手で丸を描いたりなどの工夫もしました。来年は、学年合唱の指揮にも挑戦してみたいです。
(馬場 麻弘)

・ピアノ伴奏が自分に決まったとき、きちんと務まるか不安になりました。あまり練習をせずに本番 1 ヶ月前になり、さすがに焦って練習を重ね、まともに弾けるようになったのは、本番 2 週間前でした。歌と合わせ始めたのもこの頃でした。最初合わせたときは、ピアノのミスが多くて歌いづらかったと思います。しかし、歌と伴奏、指揮を合わせるたびにピアノのミスも減っていき、合唱として成り立っていきました。そして本番。これまでの学年練習や全校リハーサルでうまく弾ききれなかったことを思い出し、とても緊張していました。1 組の番になったときには、もう緊張を通り越して、記憶が抜け落ちてしまいました。それでも無事に弾き終わり、2 学年合唱コンクール終了のアナウンスが流れたとき、やりきった思いで小さくガッツポーズをしました。
(鶴田 夏菜)